

子どもに伝えたい話

奈良県道徳教育振興会議委員

大和高田市立浮孔小学校保護者 吉川 敬代

あなたのおなかを見てごらん。おへそがあるでしょ。それが「へそのお」というヒモがあった印よ。あなたがお母さんのおなかの中にいるとき、お母さんとあなたは「へそのお」というヒモでつながっていたの。

お母さんは、毎日大きなおなかをさすりながらあなたに話しかけていたわ。元気も幸せな気持ちもそのヒモからあなたに届けていたの。おなかの中で、あなたがうーんと伸びをしたり、小さな手や足を動かしたりするから、くすぐったくて、お母さんは一人でくすぐす笑ったり、痛い痛いとおなかをさすったり、とても幸せな気持ちであなたに会える日を楽しみにしていたわ。

そして5月の晴れた日の朝、あなたから「早くみんなに会いたいよ」とサインがあったの。病院の先生が「お母さんと赤ちゃん二人で力を合わせてお誕生を迎えましょう」と励ましてくださったのよ。その日が、お母さんとあなたとの最初の出会。お母さんはその日を決して忘れないわ。あなたは元気な泣き声をあげて、手も足もいっぱいに広げていたのよ。母さんは本当に嬉しくて「はじめまして、よろしくね」とあなたの手をさわったら、あなたは小さな手のひらをギュッと縮めてお母さんの指を握ってくれたの。

あなたは、お父さんやおじいちゃん、おばあちゃん、周りのいろんな人たちに愛されてすくすく育っていったわ。その間に、ハラハラしたこともいっぱいあったけれどね。

お母さんがあなたを抱きしめて泣いてしまったときのこと覚えている？

幼稚園のころ、デパートであなたが迷子になったときのこと。覚えているよね。エレベーターで違う階に行ってしまうと、警備員の方やお店の方をお願いして一緒に探してもらったあときは心臓が止まりそうだった。あなたはすぐに見つかったけれど、ぼかんとしたあなたを抱きしめてお母さんは思わず泣いてしまったよね。

あときからあなたはずいぶん大きくなって、学校へ行ったり、友達と遊んだりとお母さんと離れる時間が多くなったね。でも、お母さんはいつもあなたのことを心配していることを忘れないでね。あなたは、わたしたちのかけがえのない大切な子どもなんだからね。

今は「へそのお」というヒモはないけれど、見えないヒモでお母さんとあなたはいつまでもつながっているの。

授かったかけがえのないあなたの生命(いのち)、そして一人一人のみんなの生命。

思いやりをもってお互いの生命を大切に生きていこうね。ずっとあなたのことを見守っているからね。